

代表委員会の役割・ルール

参加メンバーと主な役割



代表委員

- ・各クラスから出た意見を全員が聞こえる声で発表する。
- ・賛成反対意見などをたくさん発言する。
- ・わからないときは質問をする。
- ・決まったことを、報告書をもとにクラスみんなに伝える。



司会

- ・話し合いの進行をする。
- ・意見を言っていない人に当てて意見を聞いてみる。
- ・時間を意識して話し合う。
- ・出された意見を整理する。
- ・意見をまとめたり、多数決をとったりする。



副司会

- ・司会のサポートをする。困っていたら代わりに発言する。
- ・提案理由を発表する。
- ・時計を見ながら話し合いの進み具合に気をつける。
- ・司会にあまり発言していない人を教えてあげる。



黒板書記

- ・話し合いの内容を黒板にわかりやすく書く。「大きく書く」「色で分ける」「○や△を使って賛成反対を分ける」など
- ・黒板が見やすいように必要なとき以外はしゃがんだり、はじに移動したりする。



ノート書記

- ・話し合った内容をノートに記録する。
- ・決まったことを全員が聞こえる声でわかりやすく発表する。
- ・誰でも読めるように丁寧に書く。



委員長

- ・各委員会から出た意見を発表する。
- ・議題について自分たちの委員会の仕事としてできないか考える。
- ・委員長として責任を持ち、自分ごととしてアイデアを出す。



計画委員

- ・話し合いを聞く。
- ・司会団の様子を見て学ぶ。



先生

- ・話し合いを見守る。
- ・本当に困った時にアドバイスをする。

参加者の基本ルール

①進んで発表

- ・代表者である自覚を持って自分の考えを堂々と発表しよう。
- ・手をあげて、名前を呼ばれてから、はっきりと、最後まで、全員に聞こえるように発言しよう！

②耳と目と心で聴く

- ・発表者の方を向き、最後まできく。
- ・反応しながらきく。
 - ㊦ ああ！
 - ㊩ いいね！
 - ㊪ うんうん！
 - ㊫ ええ！
 - ㊬ おお！

③前向きな気持ちで

- ・どんな議題でも「より良い学校にする」という最終的な目的を忘れないようにしましょう。
- ・自分の意見が通らなくても、みんなが決めたことはしっかりと守ろう。

発表の6つの技

賛成

「〇〇さんの意見に賛成です。理由は～だからです。」

良いと思うときはどんどん言おう。賛成意見を言うことで新しいアイデアが出るかも。

反対

「〇〇の意見には反対です。理由は～だからです。代わりに□□という考えはどうですか？」

ちょっと違うなと思ったら反対してもOK。できるだけ代わりの意見も一緒に。

質問

「〇〇という意見の～がよくわからなかったので、詳しく教えてください。」

わからないことはそのままにせず、どんどん質問してみよう。実は他の人もわからないでいるのかも。

合体・くっつけ

「〇〇の意見と△△の意見は似ているので同じ意見にしてはどうですか？」

「〇〇の意見と△△の意見を合わせて□□というのはどうですか？」

合わせてみたら良くなる時もあるよ。

付け足し

「〇〇の意見に付け足しです。△△という考えを付け足すともっとよくなると思うのですがどうですか？」

付け足してみたらグッとわかりやすくなることもあるね。

ちょい変

「〇〇の意見を少し変えて○△という意見はどうですか？」

言葉を変えるだけでわかりやすくなったり、伝わりやすくなったりすることもあるよ。